

2007年2月15日

市川市長 千葉光行様

日本共産党市川市議団

### 公立保育園の委託問題・浦安市川市民病院問題での申し入れ

以下の2点について、当面する市の対応についての申し入れをします。ぜひ、積極的に受け止めていただきますよう、お願いをいたします。

#### 1、公立保育園の民間委託問題について

先行2園の委託実施につづき、宮久保・市川南・欠真間3園を平成20年から民間委託する計画を一年延期して、保護者と協議を続けていく、とのことでした。

説明会のなかで、小さな子どもを育てながら厳しい職場環境で頑張る保護者が「私たちの子どもにかかるお金が無駄なのか？」と訴えた声は、子育て支援を強調する市の説明とのギャップを大きく印象付けました。保育は専門的・継続的に行われるべき福祉事業です。

計画を一年延期して、保護者との協議を続けていくということですが、委託することは変更しないという強硬姿勢ではなく、一旦計画を白紙に戻すこと。

#### 2、浦安市川市民病院問題について

施政方針では、今後の医療内容や運営のあり方について、「運営協議会の答申」を踏まえて浦安市と検討をすすめるということでした。

全国的に医師の確保が大変難しく、診療報酬の引き下げや患者負担増などの医療費抑制政策で患者が減少し、病院経営はどこでも大変厳しい状況にあります。特に、不採算医療を実施する責任がある自治体病院の経営の厳しさは全国的に一致しています。こんなときに、民営化ありきの方針を貫くことはお金のあるなしで医療が受けられる人、受けられない人をつくることになりかねません。

誰でも安心して良質な医療を受けられるよう、病院の運営形態は少なくとも公設であることを大前提に検討をすすめること。

経営者会議などでの検討経過については議事録を公開し、結論を出す前に市民の意見を聞く場を設けること。

以上